

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	配偶子幹細胞制御機構	
領域代表者名	吉田 松生 （基礎生物学研究所・教授）	
研究期間	平成 20 年度～ 24 年度	
<p><b>【科学研究費補助金審査部会における所見】</b></p> <p>本研究領域は、動物にとって重要な生命現象である、配偶子の効率的な自己複製および分化を、配偶子幹細胞（GSC）、ニッチ細胞、ニッチの場という 3 者が構成する GSC/ニッチ・システムを動物種横断的に解析し、基本となるプログラムと共に、季節性繁殖や有性・無性生殖の転換など生殖戦略に基づく制御機構を明らかにすることを目指している。この領域は非常に重要で、かつ将来的な発展を望める領域であるが、当該研究組織はその領域を牽引してきた研究者で構成されており、広がりを持った動物種の計画研究を組織して統一的理解を目指している点が評価された。他の幹細胞関連の研究領域との差異を明確に維持しつつ、マウスからプラナリアにいたる GSC/ニッチ・システムの In vitro と In vivo での理解が進めば、有用動物の作製などの応用も期待される。</p>		